

ケーキをおいしく食べるためには ～公平とは何か考えよう～

中学校・3年生

I プログラムについて

- 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「公平・公正」）
＝【人権感覚育成のための視点】
身近な事例をもとにして公平・公正について考え、公平・公正な社会を実現するために、誰に対しても分け隔てなく接しようとする態度を育てる。
- 2 関連する教科等について
○社会 公民的分野
内容 A 私たちと現代社会 （2）現代社会を捉える枠組み ア（ア）
- 3 人権教育上の視点
(1) よりよい社会を実現するために、公平さを尊重しようとする心情や態度を身に付けている。（価値・態度）
(2) 一方に偏ったものの見方や考え方をせず、一人一人の実情を考えて公平に接することができる。（技能）

II アクティビティーについて

- 1 概要
○活動1
ワークシートの事例を読んで、ケーキの公平な分け方について考える。
- 活動2
ロールプレイを行う。Aさん、Bさん、Cさんになりきり、実際に話し合っ
てケーキをどのように分けるのかを考える。
- 活動3
公平な社会を実現するには、どんなことを心掛けたらよいかについて、個人
で考えた後、グループで意見交換をする。

2 準備するもの

- ワークシート
- 提示資料1
- 提示資料2（グループの数）
- ロールプレイ用の名札

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「ワークシートの事例を読んで考えよう」
 - ① ワークシートの事例を読み、概要を理解する。
 - ② 3人の実情を考慮して、公平に分けるためにはどうすればいいのか、個人でワークシートに記入する。
- 活動2 「ロールプレイ」
 - ① 4～5人のグループをつくり、事例のAさん、Bさん、Cさんになりきって、実際にケーキをどのように分けるのかロールプレイを行う。
 - ② 役割がない人は、ロールプレイの観察者となる。
 - ③ 感想をグループで話し合う。遊び感覚で終わらないようにロールプレイの約束を必ず伝える。
- 活動3 「公平な社会を実現するには」
 - ① ロールプレイをもとに、公平な社会を実現するには、どのようなことを心掛けたらよいか個人で考えた後、グループで意見交換をする。
 - ② グループで意見交換をした後、代表者が発表する。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- ケーキを正確に三等分する方法を考えることが目的でなく、公平の視点で、個別の実情を考慮しながら、互いに納得するケーキの分け方を考えさせることが大切である。
- ロールプレイでは、男役と女役があるので、クラスの男女比に合わせて3人の男女比を変えてもよい。
- クラスの実態に応じて、事例の年齢や出したお金を変更したり、新たな設定を追加したりしてもよい。
- 例えば、新学級がスタートして、学級内のコミュニケーションが増えてきた頃に実践すると効果的である。

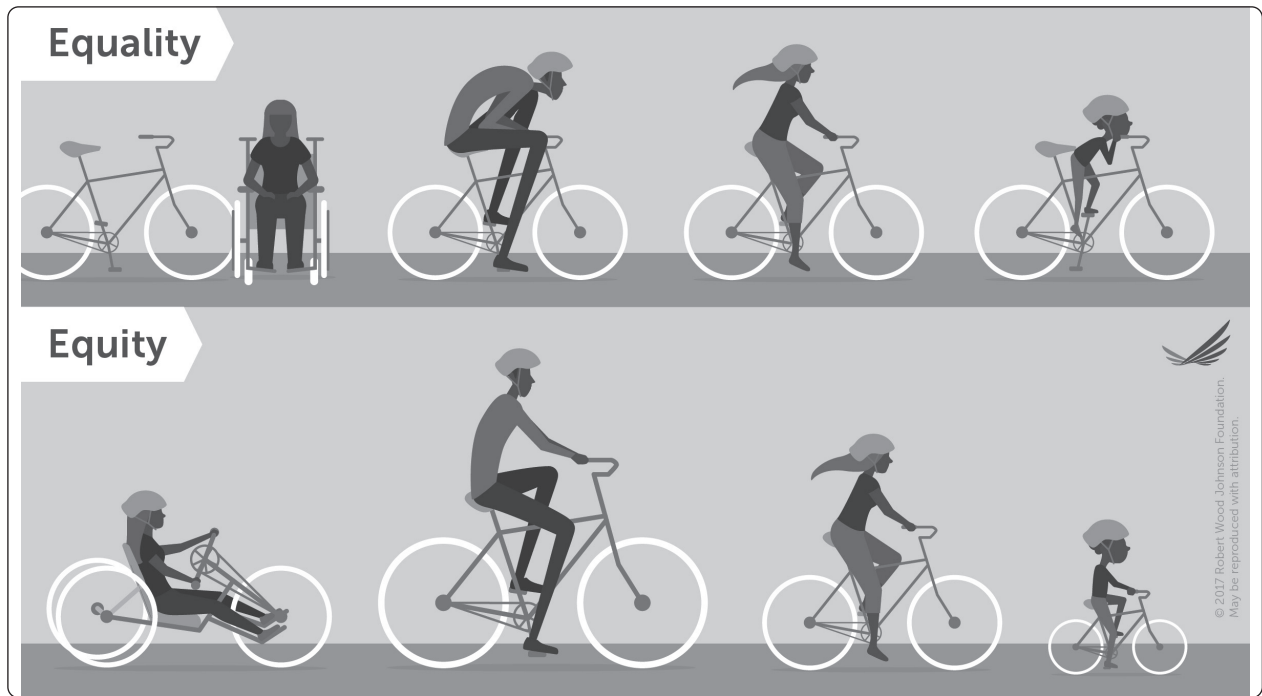
Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
10分	<p>1 課題の把握</p> <p>T みなさんが生活している中で、これは平等ではないと感じる場面がありますか。</p> <p>S 貧富の差があること。 S 電車に女性専用車両があること。 S 大人はお酒が飲めること。</p> <p>T 公平という言葉を知っていますか？平等と何が違うのでしょうか？</p> <p>S 平等は、皆、同じ自転車。 S 公平は、それぞれに合った自転車で、皆が自転車に乗れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例をもとに本時のテーマに興味をもたせる。 ・多様な場面が考えられることを伝え、生徒に積極的に発表させる。 ・提示資料1 (平等と公平) を示して、Equality が平等、Equity が公平を示していることを伝え、二つは何が違うのかを考えさせる。
35分	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">公平とは何か考えよう</div> <p>2 ロールプレイ</p> <p>T まず、ワークシートの事例を読んでください。3人で公平にケーキを分けるためにはどうすればよいか、個人で考えてみましょう。</p> <p>S 簡単には三つに分けられない。</p> <p>T グループで、事例のAさん、Bさん、Cさんの役になりきって、実際にケーキをどのように分けるのかロールプレイを行いましょう。役割がない人は、観察者となって、ロールプレイ後に感想を発表してください。</p> <p>S 話合いで公平に分けるのは難しい。</p> <p>S なかなかよい分け方が見つからない。</p> <p>S とてもよい意見が出たから、その方法で分けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布する。 ・自分が公平だと考える方法でケーキを分けさせる。 ・ロールプレイを行うときは、ロールプレイ用の名札を配布し、必ず役になりきって取り組ませる。 ・ふざけたり、楽しかったで終わったりしないようにする。 ・提示資料2 (ケーキのイラスト) を各グループに配布して、イメージさせる。 ◎ 3人の実情をよく考慮してケーキの分け方を考えられるように、「この後、全員がケーキを食べながら、楽しい時間を過ごすためにはどうしたらよいか」という視点で考えるように声を掛ける。(技能)

	<p>3 公平な社会についての話し合い</p> <p>T 公平な社会を実現するには、どんなことを心掛けたらよいか考え、個人でワークシートに書いてみましょう。</p> <p>S 早い者勝ちで決めていたのは、決め方を考え直した方がいいのではないか。</p> <p>S 一部の人だけが有利にならないように気を付ける。</p> <p>T 今、個人で考えたことについてグループで意見交換をしましょう。</p> <p>S 機械的に見た目を同じにするだけでは公平にならないので、実情をよく考える。</p> <p>S 自己中心的な考え方ではなく、社会をよりよくしていこうとする気持ちが大切。</p>	<p>◎抽象的にならず、具体的に公平な態度を尊重することができるように、日常生活で、公平さが求められる場面を想起して考えるように助言する。(価値・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一人一人が実質的に同じ満足を得るために」という視点で考えさせる。 ・公平ではないと感じた場面があれば、率直に発言させ、その場面について話し合わせる。
<p>5分</p>	<p>4 振り返り</p> <p>T 今日の学習を振り返って、今後の生活に生かしていきたいことは何か、ワークシートに記入しましょう。</p> <p>S クラスでトラブルがあったときの話し合いに生かしていきたい。</p> <p>S 学校生活では、公平性を求められることが多いから、自己中心的な考え方をしないよう気を付けたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいに沿った感想を書いている生徒に発表させ、学級全体で共有する。 ・公平なクラスや学校をつくり上げていくのは、自分たちであることを伝え、今後の学校生活に生かしていく態度につながるようまとめる。

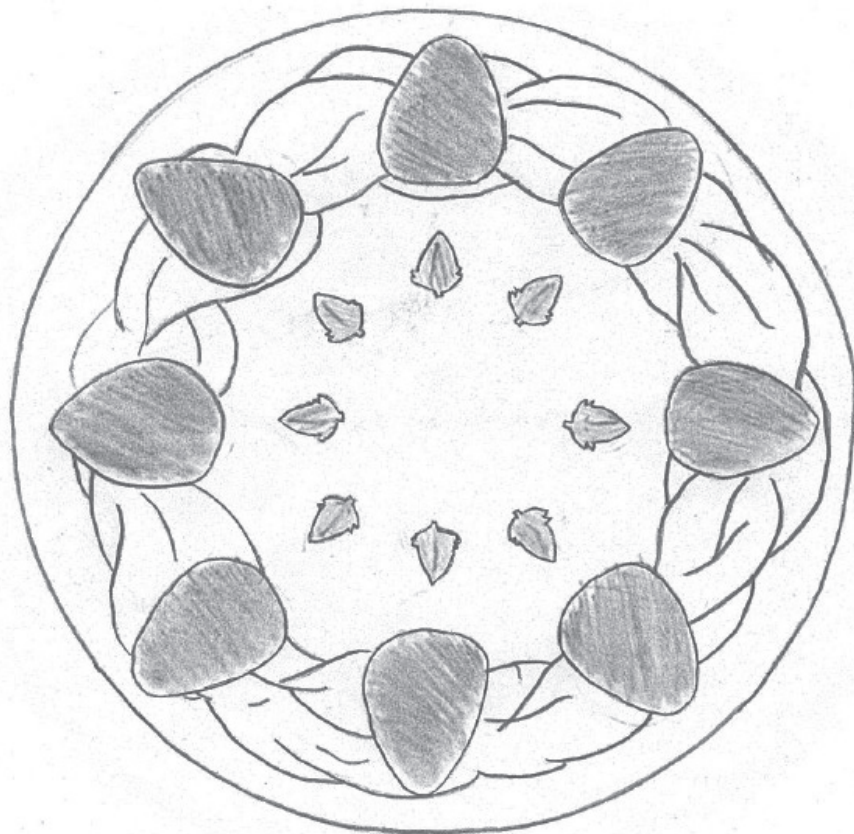
IV 資料

(1) 提示資料1 (平等と公平) ※Equality:平等、Equity:公平



(出典: Robert Wood Johnson Foundation)

(2) 提示資料2 (ケーキのイラスト)



(3) ワークシート

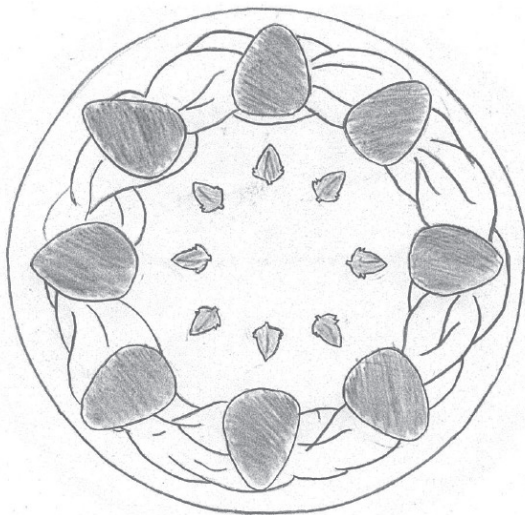
～公平とは何か考えよう～

()年()組()番 氏名()

3人の子供がいます。
3人でお金を出し合い、おやつにケーキを食べることにしました。お店でケーキを買い、家に帰ってケーキを分けようとしています。3人の情報は、次のとおりです。

	Aさん	Bさん	Cさん
年齢	16歳	12歳	10歳
性別	男	男	女
お金を出した額	600円	300円	200円
備考	好きな食べ物はクッキーで、お腹がすいている	一週間後は誕生日	好きな食べ物はケーキ

○ケーキを3人で公平に分けてみましょう。



○公平な社会を実現するためには、どうしたらよいでしょう。

○今日の学習を振り返って、今後の生活に生かしていきたいことは何ですか？
